

向茂組さん、ライフテックミツダさん、布小PTAさんから
ビッグなプレゼント！

明日、布引っこ『キラリ』イルミネーション2020点灯式

8月の盆明けすぐの一番暑い時期からはじまった2学期も、あと3日となりました。

こんなに長い2学期は、戦後はじめてと言っていいと思います。それほど今年は何年でした。

そんな中「雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモ 夏ノアツサニモマケズ」2学期をやり抜いた布引小学校の子どもたちに蛇溝町の向茂組さんと今堀町のライフテックミツダさん、布小PTAからビッグなプレゼントをいただきました。

本校の校庭にもうすぐ樹齢43年を迎えようとしている20m級の高木が2本あります。子どもらは「校長先生の木、教頭先生の木」と呼んでいます。正式にはメタセコイアという落葉樹です。

本校の卒業生であるPTA荒川会長は、「小さい頃は全然存在に気づかなかった」と言われていましたが、それもそのはず、この木は成長が極めて早く、はじめは1年間に1～1.5メートルも伸びるそうです。43年の歳月を経て、布引小学校の子どもたちの成長を見守りながら今や20m級の巨木に成長しました。まだまだ伸びるそうです。

そのメタセコイアに、布引っこ応援団（代表：東野喜代詞さん）が中心となって、「2学期頑張ったごほうびに、またこのコロナ禍のなかでも元気な布引っこであってほしい」という願いを込めて、向茂組さんとライフテックミツダさんとタッグを組み、この度イルミネーションの灯りを飾ることとなりました。

ぜひ、親子で明日の点灯式(18:00)にお越しください、笑顔で帰っていただくと幸いです。



高所作業車による工事の様子

時代はプログラミング学習へ突入！

先日、本校の4年1組で市内のICT主任が集まりプログラミング学習の授業研究会が開催されました。タブレットや電子黒板を自在にあやつる子どもたちにまじりびっくり！

授業は、「生活に役立つものを作ろう」というめあてで、それぞれの班で子どもたちが考えた、たとえば「洗濯物をほして雨がふりそうになったら光と音で知らせてくれるもの」や「今の体温を色別で知らせてくれるもの（コロナ対策?）」などをプログラミングするものでした。

参観者は、「こんな授業を小学校の時に習いたかった」「子どもたちのアイデアが形になっていくので楽しそう」「まさにこれからの時代に必要」などの感想を話されていました。

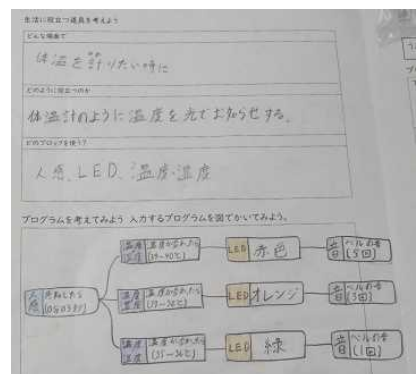
1月には、全児童一人一台のタブレットが学校に入ります。参観日にプログラミングの授業を見られる日はすぐそこまで来ています。



2学期は、毎日の検温をはじめとする子どもの健康管理や安全な登下校など保護者の皆様には色々な場面で無理をお願いしてご協力いただきました。個別懇談がはじまっていますが、我が子の通知表は、決して満点ではなかったかもしれませんが、でも、毎日勉強して、一生懸命行事に取り組んで、時には友達とけんかもしながら、日々まさに自分のいる場所でがんばった本校の子ども全員に満点をあげたいです。

2学期最後の学校便りとなりましたが、日々の学校教育の中で連絡ミスや教職員の対応がいたらなかった点があったことをこの場を借りてお詫びいたしますとともに、保護者の皆様のあたたかいご支援とご協力に心より御礼申し上げます。

令和3年、丑（うし）年、どうぞよい年をお迎えください。



プログラミング学習ノート

11月・12月の学校の様子

(3) (昭和32年4月6日第三種郵便物認可) 滋賀報知新聞 令和2年12月13日(日) 5頁

6年生が思い出とリーダー性を育む

布引小学校で縦割り活動

【東近江】 今年度は新型コロナウイルスの影響で、市内各小学校では修学旅行や運動会などの催しが中止となった。そんな中、感染症対策を講じた上で、子どもたちの思い出となる行事が開催できないかと、各学校で様々な工夫が凝らされている。布引小学校（東近江市布引町）では8日、全校児童（258人）が各学年に分かれ、校内に散らばられたチェックポイントでゲームを競う「ウォークラリー形式の委員会祭」が開かれた。

同校では、1年生から6年生までがグループに分かれて活動する「縦割り活動」が伝統的に行われている。上級生の児童がリーダーとして、下級生の児童を指導する。児童らは計画性、仲間づくり、学年全体のつながりを深めることを目的としたもので、今年度は新型コロナウイルスの影響で各行事の中止といった縦割り活動の回数も少なくなり、6年生の活躍の場が制限されていた。

今回、児童らが組織された児童委員会が、全校児童で楽しめる行事を企画。図書室や体育館などに設けたチェックポイントを縦割りグループで回り、クイズなどのゲームでポイントを獲得していくもので、ゲームの内容や仕組みも全体的に笑顔で話した。

上級生が考えたクイズに答える児童ら

絵本を読み聞かせる上級生

「中止悔しいが、絆深まった」 上級生が行事を企画

【東近江】 今年度は新型コロナウイルスの影響で、市内各小学校では修学旅行や運動会などの催しが中止となった。そんな中、感染症対策を講じた上で、子どもたちの思い出となる行事が開催できないかと、各学校で様々な工夫が凝らされている。布引小学校（東近江市布引町）では8日、全校児童（258人）が各学年に分かれ、校内に散らばられたチェックポイントでゲームを競う「ウォークラリー形式の委員会祭」が開かれた。

同校では、1年生から6年生までがグループに分かれて活動する「縦割り活動」が伝統的に行われている。上級生の児童がリーダーとして、下級生の児童を指導する。児童らは計画性、仲間づくり、学年全体のつながりを深めることを目的としたもので、今年度は新型コロナウイルスの影響で各行事の中止といった縦割り活動の回数も少くなり、6年生の活躍の場が制限されていた。

今回、児童らが組織された児童委員会が、全校児童で楽しめる行事を企画。図書室や体育館などに設けたチェックポイントを縦割りグループで回り、クイズなどのゲームでポイントを獲得していくもので、ゲームの内容や仕組みも全体的に笑顔で話した。

5、6年生が企画した「委員会祭り」はNHKと報知新聞で紹介されました（掲載了承済）



↑ 1年はこども園アップルさんとの交流会 ↓



↑ NHKの取材を受ける村田さん、松村君、山田さん





3年生は消防署見学「これはなあに？」



6年生は大鳳作り。 1月22日にグリーンスタジアムで揚げます！



5年生は、食育の授業。右の重田先生が給食の献立を考えてくださっています。